

教具セット一部改訂による指導内容の変更について

《セットから外れる教具》

Step 2 教具	「パズルー 2 (動物)」
Step 4 教具	「青緑のボード・マレット」
Step 5 教具	「音叉」

《指導内容について》

Step 2 教具「パズルー 2 (動物)」

p.19 教具「絵カードー 1 (動物)」の内容を拡充して指導しましょう。

・ LESSON 3, 4, 7, 8 教具「絵カードー 1」 (動物)」 p.19

指導内容 1. を行いましょう。加えて、下記の内容も行いましょう。

○カードの見せ方を工夫して、先生と同じカードを探してもらいましょう。

例：全体を一気に見せず、「部分から全体へ」徐々に見せる

動物の上半身だけ、下半身だけを見せる

鳴き声や動作などで、その動物の特徴を伝える。

子ども自身が「何の動物かな？」と考えることは、視覚的注意力の向上、想像力の育成につながります。

・ LESSON 11, 12, 15, 16 「パズルー 2 (動物)」

教具「絵カードー 1」 (動物)」 p.19の指導内容 2 を行いましょう。

Step 4 教具「青緑のボード・マレット」

すべて、スティックとカラーボードで代用します。

〈使用する項目〉

「よくみて」 p.66 「キラキラ星」 p.81 「まねっこマレットー 1」 p.84

「2つ3つ4つ」 p.92 「まねっこマレットー 2」 p.99

「カードのリズム打ち」 p.113

Step 5 教具「音叉」

音叉はセットから外れますが、指導内容は以下の通り引き続き行いましょう。

〈指導例〉

○本「ソルフェージュ Lesson 8」 p.138 ☆音叉を使った指導 a)

先生の音叉を使用して行いましょう。

○本「ソルフェージュ Lesson 8」 p.138 ☆音叉を使った指導 b)

本「ソルフェージュ レッスン 9～22」 p.145、149、156、162、166、173、179、183、191、194、198、202、211、213

鉄琴、またはピアノで代用して行いましょう。

《リニューアルする教具》

リニューアル前	リニューアル後
Step 2 教具「赤白黄のボード」	「赤白黄青のボード」青を追加
Step 2 教具「ビーズ」	色を緑から青に変更
Step 3 教具「色の棒」	長さを15cmに変更
Step 5 教具「おとのかいだん」	立体から平面に変更

Step 2 教具「赤白黄のボード」

従来のカラーボード（プラスチック製）を、より安心安全に使用していただくため、ウレタン製に変更しました。そのため、Step 2 から使用する3色ボードに青色が加わり、指導書の項目名が「赤白黄青のボード」に変更となりました。青色の活用例を以下に記します。

〈指導例〉

「赤白黄のボードー1」 p.14 赤白黄青、好きな色を選んで行います。

「赤白黄のボードー2」 p.24 赤、白のみで行います。

「赤白黄のボードー3」 p.48 赤、白、黄でできたら、青も加えて行います。

「赤白黄のボードー4」 p.80 赤、白、青でできたら、青も加えて行います。

例…「くつした1・2・3・4」など

※Step 3、4、5のカラーボードの指導法の変更はありません。

Step 2 教具「ビーズ」

Step 1 「3色積み木」、Step 2 「カラーボード」、Step 2 「シール」、Step 3 「色の棒」の教具と、「赤白黄青」の色を統一するため、緑色のビーズを青色に変更しました。

〈指導例〉

○3色積み木、カラーボード、「おさんぼのーと」で貼った○△□のシールの上に、ビーズを立てて並べてみましょう。手指の巧緻性が育まれます。また、色を合わせてみたり、一つの積み木に一つのビーズを載せてみたりすることで、「同じ色を合わせる（同一性合わせ）」、「一つにつき一つのを合わせる（1対1対応）」の経験をすることができます。

〈使用する項目〉

「ビーズー1」 p.13 「ビーズー2」 p.36 「ビーズー3」 p.53 「ビーズー4」 p.71

Step 3 教具「色の棒」

色の棒の長さを、3歳児が扱いやすい15cm（カラーボードの辺の長さと同じ）に変更しました。扱いやすい長さにすることで、イメージしやすく創造性が高まります。

〈活用例〉

カラーボードと組み合わせて、いろいろな形を作ってみましょう。「ロボット」「お顔」など、楽しいものが作れそうですね。色の棒とカラーボードを組み合わせて使うと、図形の特徴、構成要素などに親しむことにもつながります。

〈使用する項目〉

「色の棒ー1」 p.27 「色の棒ー2」 p.45 「色の棒ー3」 p.59

Step 5 教具「音の階段」

子どもが持ち運びやすく、効率的なサイズ感にするため、立体から平面に変更しました。階段の部分を立てて折り、指さして使用します。指導内容には変更ありません。